

2023年1月31日

住友生命保険相互会社

中米経済統合銀行（CABEI）が発行するブルーボンドへの投資 ～資金供給を通じ、中米地域における水資源の保護等に貢献～

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 高田 幸徳、以下「住友生命」）は、中米経済統合銀行（Central American Bank for Economic Integration、以下「CABEI」）が発行するブルーボンドへの投資（30 億円）を決定しました。本件は、住友生命初のブルーボンドへの投資となります。

CABEI は、1960 年に中米 5 カ国によって設立された国際開発銀行であり、加盟国の持続可能な発展に資する融資等を実施しています。ブルーボンドは、海洋保全や持続可能な漁業など、水環境に関する事業を資金使途とする債券を指しています。今回、CABEI は中米地域における水資源の保護等を目的とし、ブルーボンドの発行に至ったものです。



(CABEI 提供)

具体的には、今回調達された資金は主に水資源保護、持続可能な水管理、再生可能エネルギー、自然保護などの適格プロジェクトに充当される予定です。例えば、適格プロジェクトの見込み案件として、コスタリカのテンピスク川中流域沿岸における給水プロジェクトが挙げられます。同プロジェクトには、ダムおよび貯水池、パイプライン、水処理プラント、発電所の建設が含まれます。

住友生命は、資産運用を通じて、水資源の保護も含め、環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に取り組んでおり、中長期の安定的な運用収益確保に加え、脱炭素および持続可能な社会の実現への貢献を目指しています。

【本件概要】

発行体	中米経済統合銀行（CABEI）
発行金額	70 億円（うち、住友生命の投資金額 30 億円）
期間	10 年

【本件を通じて貢献すると想定される主な SDGs 項目】



以上